

会報



広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
PTA連合会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp
※HPアドレス変わりました↑↑

NO. 154

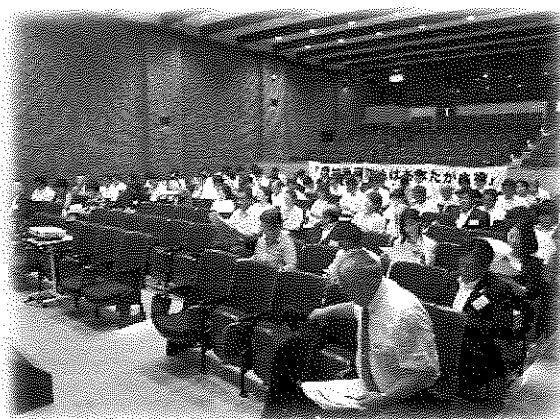
平成二十七年 第一回単P会長研修会

とき 平成二十七年八月一日(土)
ところ 広島YMCA国際文化センター 国際文化ホールほか

平成二十七年八月一日(土)十三時より、広島市中区八丁堀にある広島YMCA国際文化センター国際文化ホールにおいて、平成二十七年第一回単P会長研修会が、広島県内各校のPTA会長が参加して行われました。

次に今年度より広島県高等学校PTA連合会会長を務められる北村正次会長より挨拶があり、本日出席いただいた御来賓の方々へのお礼を述べられたのち、本日の研修会の趣旨についてお話がありました。

(三)閉会行事が行われました。
開会行事においては、開会の言葉に続いて国歌斉唱を行いました。



続いて本日の御来賓として、広島県教育委員会事務局教育部生涯学習課長の十時明子様、広島県公立高等学校長協会副会長の檀上満様より御挨拶を頂きました。



研修会においては、まず北村会長より広島県高等学校PTA連合会の組織等について、組織図を参照しての説明がありました。
続いて「ケータイ・スマホの安心安全利用について」と言う演題で、情報教育アナリストの長谷川陽子さんが講演を行いました。
長谷川さんは島根県松江市の出身で、関西の短大を卒業後、流通業界に就職。一九九四年にUターンし、営業事務を六年間経験。松江では「欲しいモノ・情報」が簡単に手に入らないことを知り愕然とするが、次第に島根の良さを実感し、自ら情報を発信するようになりました。

その後、人との出会いをきっかけに起業し、二〇〇六年から「情報モラル教育」に重点を置き、島根県内のみならず、全国各地の小・中・高の児童・生徒、教職員・PTA・一般の方を対象に、これまで五百校以上で講演・研修を行っておられます。また今年度より「情報教育アナリスト」として、ネットのリスク・インフォメーションの「伝道師」としてフリーランスで活動を開始されています。

様々な立場、年代の方々に講演をされていることもあり、その対象者に合わせて講演内容を変えておられるようです。

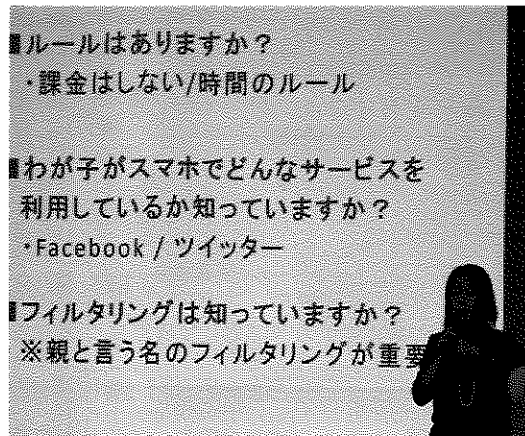
また今回は時間の都合上、受講者がPTA関係者と言う事もあり、保護者が子供のケータイ・スマホにどう関わるかを主に話されました。

ほとんどの人がケータイ・スマホを所持している今日において触らなければ大丈夫と言う事はない。例えば就職活動においては企業の情報収集、面接を受けるための登録、学校からの緊急連絡など。

使用できなければ社会に対応できないのが現実。ケータイ・スマホを「道具」として使う。でも「道具」を使用しているのは「人」。インターネットに潜む危険性を理解し、理解したらどうすれば回避できるかを考え行動しなければ、子供の未来が大変な事になる。

例えばSNSやブログでアップされた内容から学校や住所などがバレる危険が

ある。固有名詞を出していなくても制服を着た自分の写真やよく行くスパーの情報から住んでいる町や高校名などが分かる。ストーリーカー被害に遭う危険。



子供にケータイ・スマホを何の教育もなく持たせるのは間違い。まずは子供がケータイ・スマホを持つにはルールが必要。例えばゲームなどの課金、有料アイテムは駄目。使用するアプリケーションは無料のみ。三十分ネットをしたら一時間は休む。使える時間は二十一時までは自分の部屋には持ちこまない。寝る前にはしない等。ルールを設けることにより子供の未来を守ることもつながる。

例えば、寝る前のケータイ・スマホは画面からのブルーライトにより、体は休んでいても脳が寝ていない状態。寝る一

時間前にはやめる。休みがしっかりと取れないと注意力散漫になり、事故などに巻き込まれるかもしれない。

ルールと共に重要なのはケータイ・スマホの設定。機種ごとの設定やLINE、ツイッターの設定などを子供と話し合う。設定された内容は個人特定に繋がらないか。

例えばスマホにはGPSと言う人工衛星の電波でスマホの場所が分かるシステムが搭載され、スマホをなくした場合に見つけることができ便利。

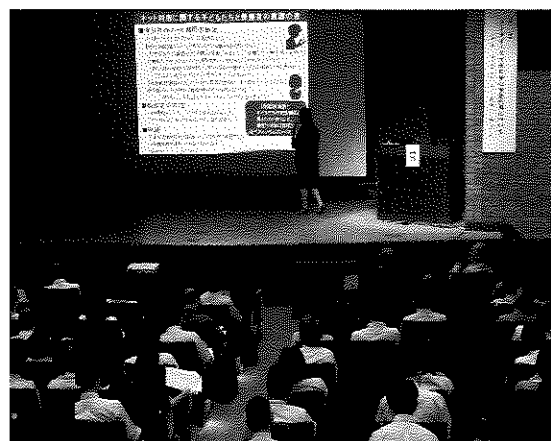
しかしGPS機能が搭載されたスマホで撮影した写真には場所の緯度経度の情報が埋め込まれており、その場所情報を「ジオタグ」と言う。自宅の場所を写真をネットに載せるとその場所が特定される。スマホの設定をオフにしていれば、「ジオタグ」を埋め込まれることはない。スマホ購入時にそういう風な設定を確認して設定しなおすことが大事。

ケータイ・スマホは全世界に繋がる「道具」。ネットに出た情報はもう消すことが出来ず、その内容を就職先の人事担当者に確認され、不採用になる可能性もある。ケータイ・スマホについてきちんと学び、使用することが大事。

多くの実例を挙げて、またプロジェクトで映し出された内容を確認しながらのケータイ・スマホを用いての講演はとても理解し易い内容でした。

家に戻りそのまま子供に伝えられる内

容が多く、たいへん為になりました。



研修行事の最後には広島YMCA本館四階にて、各校のPTA会長が、予め決められた七つの分散会に分かれ、意見交換会が行われました。

自己紹介ののち、各単Pが抱えている問題や疑問に思う事について、各校より意見をいただき話し合う事で悩みを共有して解決への糸口にする事が出来ました。

分散会後に再び、広島国際文化センター国際文化ホールに集まりました。そこで閉会行事が執り行われ、閉会の言葉をもち平成二十七年第一回単P会長研修会が閉会しました。

(調査広報委員 焼廣修成)

平成二十七年 広島県高等学校PTA連合会 進学説明会

とき 平成二十七年九月十九日（土）
ところ 広島県民文化センター

日で県内国公立大学の説明が聞けるとあって、とても熱心に聞いていただけました。行きたい大学だけではなく幅広い県内の大学の話しを聞き、進路をもう一度見直したいという意見もあり、参考にしていただけたのではないかと思います。

広島県高等学校PTA連合会の事業として「進学説明会」を開催しました。

本年度で三回目をむかえ、進路対策委員会事業として定着してきました。

今年度は九月開催になり、三年生の皆さんには少し遅く、二年生の皆さんには早すぎたように思いました。

また、シルバーウィークの大型連休にも関わらず三百四十名もの会員の皆さんに御参加頂きました。



まず初めに、北村正次会長の挨拶の後、各大学の説明の前に「これからの社会が

求める高大接続・大学入試の改革」と題し、株式会社リクルート、マーケティングパートナーズ、リクルート進学総研、キャリアガイダンス編集顧問の角田浩子様にお話しを頂きました。



アンケートの感想には「受験生はもちろん、今大学に通っている子供にも、改めて進路についての話しをしてみようとおもいます」「小学生の内からもっと将来についての話しをしていければ良かった」

た」と前向きな感想を頂きました。

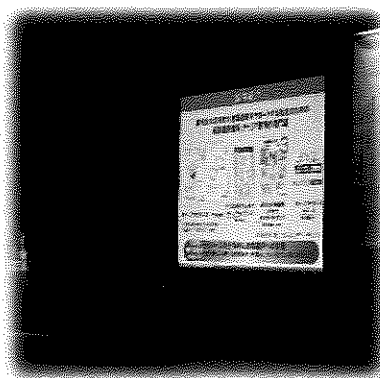
私自身も、もっと先の進路について子供としっかり向き合っ話しようとおもっています。

とてもわかりやすいお話で、機会があれば是非、お話しをしていただきたいと考えております。

次に各大学の紹介に移ります。福山市立大学、尾道市立大学、県立広島大学、広島市立大学、広島大学、そして初めて海上保安大学校より説明会に参加



加していただきました。各大学二十分と少し短めでしたが、一



今回初めて参加頂いた海上保安大学校の説明に対しては、「いつも日本を守ってくれてありがとう」と感謝の言葉も頂きました。

四時間の長丁場にも関わらず、各大学の話しを熱心に聞かれていた姿を見てこの会が実施できたことに安堵しました。今後も継続して行えるように役員一同頑張りたいと思います。

アンケートで頂いた御意見御感想につきましては今後の参考にさせていただきます。進路説明会を企画させていただきます。会員の皆様の多くの御参加ありがとうございます。

（進路対策委員長 岡本知子）

「未来からの風をつかめ！」宮沢賢治「生徒諸君に寄せる」の一節からメインテーマを掲げ、去る八月十九日〜二十一日の間、第六十五回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会が盛岡市で開催されました。

歓迎アトラクションとして、二高校の演奏が披露されました。盛岡市立高等学校吹奏楽部は、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストに出場するだけでなく、マーチングバンド「Pleasure Star」としても活動しており、部員の多くは高校入学後にマーチングを始め

受賞しています。

昨年の岩手県高等学校総合文化祭日本音楽部門において最優秀賞を受賞し、今年度は「第三十九回全国高等学校総合文化祭滋賀大会」への出場を果たしている伝統校です。両校の素晴らしい演奏で岩手大会の開幕を飾りました。

開幕にあたり、全国高等学校PTA連合会会長、文部科学大臣、岩手大会実行委員長、岩手県知事、盛岡市長の挨拶がありました。

引き続き、芝浦工業大学の村上雅人学長が基調講演を行いました。

村上氏は、一九五五年、岩手県盛岡市生まれ。東京大学工学部金属材料科学卒業。同大学工学系大学院博士課程修了。

工学博士。超電導工学研究所第一および第三研究部長を経て、二〇〇三年四月から芝浦工業大学教授。東京海洋大学客員教授。超電導工学研究所特別研究員。

一九七二年米国カリフォルニア州数学コンテスト準グランプリ、日経BP技術賞、World Congress Superconductivity Award of Excellence、岩手日報文化賞ほか多くの賞を受賞して

については、ニュートン力学を使えば魔法のように様々なことができる一方で、科学が無力だと感じさせるような解明されていない問題もたくさんある。だからこそ、人が関与する価値があると話していました。

教育については、「教育の大切さは世界共通の認識であり、教育によって人も国も変わる」そして、自分の人生を振り返り、尊敬できる先生に出会うことが重要だと、と力説しておられました。アメリカの教育学者の言葉に「偉大な教師は学生の学びの心に火をつける」とある。

第六十五回 全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会

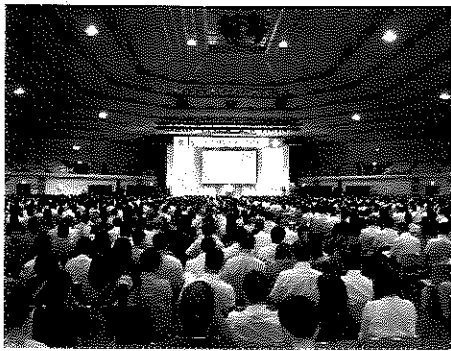
とき 平成二十七年八月十九日〜二十一日 ところ 岩手産業文化センター アピオほか

るようです。

今年度は「飛躍」を活動目標に掲げ、一人一人が星のように輝き、そして一つの世界観を示す。Pleasure Star“らしいShowを作り上げることを目標にしているそうです。

岩手県立盛岡第二高等学校箏曲部は一九八四年に創部され、昨年三〇周年を迎えています。

一九九〇年にはじめられた全国高等学校総合文化祭日本音楽部門コンクールには岩手県代表として二十四回参加し、文部科学大臣賞六回、文化庁長官賞を九回



いる方です。

今回は、「夢高くして足地にあり the sky is the limit」というテーマで基調講演を行いました。夢のある非常によい話でした。

彼は、高校時代に留学した御自分の経験や専門の超電導工学の話、そして教育の役割等について熱く語りました。

友人については、交換留学生としてアメリカに行ったときの友はいまだに「人の宝（マイ ライフ トレジャー）」と話していました。苦楽をともにした友は心通う友ということでしょうか。科学

様々な方法論があるが教師の役割はここにあると。

彼自身が大学受験に不利になるかもしれないと様々な人から言われながらも、米国留学を決めたのは、ある先生の話を受けてのことだと話されていました。

「若者に夢を与えること」これがもう一つの教師の役割とも述べていました。若者が希望や夢を持ち、志を高く持つことが最も大切なことだと。

講演の最後では、クラーク博士の「ポイズビーアンビシャス」を引用し、この言葉は、次に「自分の欲や名声を求め

第二分科会の報告

第二分科会は、進路指導とPTAで、テーマは「キャリア教育の推進とPTA活動」として、少子高齢化で産業経済の構造的変化や雇用が多様化し、就職活動も大きく変化している。

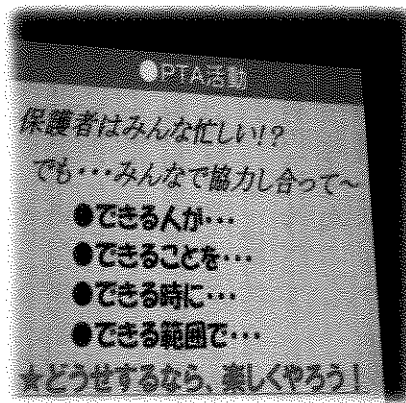
若年層の社会人・職業人としての資質や素質が問題化されている人間関係を問題化されている人間関係を上手に築けず、「自分で意見決定できない」「自己肯定感が持てず将来に希望が持てない」など、子供たちの生活や意識が大きく変化している。キャリア教育にはまだまだ課題がある。個性や適性を十分に踏まえよう。で、子供たちが未来にむけた、夢・希望・目標の実現に向けてPTAとして同活動できるかを考えていかなければならぬ。



第三分科会の報告

第三分科会は、生徒指導とPTA、テーマは「規範意識の醸成とPTA活動」をテーマとして、各学校の代表者が発表しました。

こちらの発表者には、広島県立松永高等学校の発表がありました。

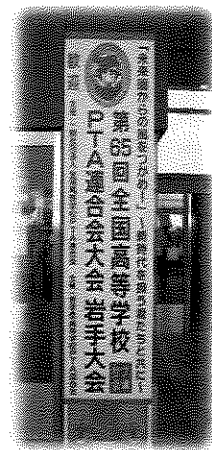


テーマを「忍の一字で見守るPTA」と題しての事例発表で、問題行動などの行動が恒常化していた学校が大きく変化できた理由として、生徒の純粋な気持ちの一つの要因、多くの生徒が安心安全な学校を望んでいるためPTAと学校とが協力して指導を行ったためです。大きな成果を上げた背景には、テーマにも上げている、「忍の一字で見守る」という保護者の覚悟（理解と協力）と信頼関係が、学校側にも大きな安心と精神的なバックアップとなりました。次のステップ！をスローガンとし、P

第四分科会の報告

PTAとして見守り、楽しみながら協働していくと発表されました。

第四分科会は、家庭教育とPTA、テーマは「家庭教育の役割とPTA活動」核家族化や少子化、ライフスタイルの変化、保護者の意識の多様化からの教育力の低下、子供たちは物質的な豊かさや便利さの中で生活している一方、過度の受験競争でゆとりのない生活を送り、生活体験や社会体験が乏しい。保護者は「この教育について第一義的責任を有する」再確認し、家庭や地域で子供の育成に何ができるかを考えていかなければならぬ。



震災復興視察報告

岩手県宮古市田老町へ震災復興視察に行きました。現地では、震災に遭われた方がガイドをされていて、当時のすさまじさを語ってくれました。子供たちの受けた恐怖や衝撃は大きかった。しかし、ボランティア、自衛隊、多くの方々の励ましにより一歩一歩前進しています。私達はPTAの一員として、子供達の生き抜く力の育成のため

～PTA功勞表彰の御紹介～

第65回全国高等学校PTA連合会大会岩手大会で次の皆さんが御受賞されました。

平成27年度優良PTA文部科学大臣表彰 広島県立加計高等学校芸北分校PTA

第65回全国大会会長表彰 個人

佐々木道宏 広島北地区高等学校PTA連合会 前会長

広島県立祇園北高等学校 前PTA会長

山室学司 広島県立尾道商業高等学校前PTA会長

第65回全国大会会長表彰 団体 広島県立祇園北高等学校PTA

御受賞おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

めに、共に育むものとして、新たな連携の模索など、これからのPTAのすべきこと、あるべき形をあらためて考えました。(調査広報担当幹事 田川知子)

平成二十七年 広島県高等学校PTA連合会 広島県大会 とき 平成二十七年十月十八日 ところ 呉市文化ホール

平成二十七年 広島県高等学校PTA連合会広島県大会が、平成二十七年十月十八日(日)十二時から呉市文化ホールにおいて、「授命協生」く今、生かされていることに感謝、今の幸せに感謝、その応援に感謝！くをテーマに、広島県内8地区から約一千名もの会員が参加して、盛大に開催されました。

本大会の日程は、アトラクション：第一部(呉港高等学校ブラスバンド部)、閉会行事、事例発表(広島県立西条農業高等学校PTA会長)、アトラクション：第二部(広島県立呉宮原高等学校ダンス部)、講演(腰塚隼人氏)、閉会行事



から構成され、十六時十五分ごろ全日程を終了しました。

開会に先立ち、アトラクションとして呉港高等学校ブラスバンド部による演奏と歌謡ショーが繰り広げられました。「SEKAI NO OWARIコレクション」に始まり、カーペンターズなどの落ち着いたナンバー、更にはお父さんやお母さんを応援するメドレーなどが次々と演奏されました。そして何よりも会場を盛り上げたのは、NHK連続テレビ小説のメドレーによる歌謡ショーでした。「あまちゃん」の潮騒のメモリーズは、二人の息がびったりで振り付けも本物を上回る出来栄でした。また、「マッサン」の主題歌である「麦の唄」は、一年生の男子生徒が観客席を練り歩きながら熱唱を繰り広げ、観客席から握手攻めにされるなど、会場の雰囲気は大いに盛り上げてくれました。あまりの楽しさに、アンコールを求める拍手が鳴りやみませんでした。時間が都合もあり、残念ながらその夢は叶いませんでした。

なお、呉港高等学校ブラスバンド部の「第十一回定期演奏会」が、来る平成二十八年三月二十五日(金)十七時三十分から呉市文化ホールにて開催されますので、お楽しみに！

開会行事では、曾根誠治大会実行委員



長の方強い「開会のことば」に続いて、北村正次広島県高等学校PTA連合会長の主催者挨拶、そして、下崎邦明広島県教育委員会教育長及び小村和年呉市長、広島県高等学校長協会の御来賓の皆様から御祝辞をいただきました。

続いて、広島県立西条農業高等学校の富田秀明PTA会長から「命を育む農業教育」私たちにできること。楽しく参加できるPTA活動」をテーマに事例発表が行われました。

広島県立西条農業高等学校は百七年の伝統と歴史を誇る農業高等学校で、園芸科・畜産科・生活科・農業機械科・緑地

土木科・生物工学科・食品科学科の七学科から編制され、学校の敷地はマツダズーム・ズーム・スタジアム十一個分にも及ぶ広島県で最も広大な敷地を有する高等学校です。

平成二十四年度には、農業高等学校として全国で初めて文部科学省のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)に指定され、近隣大学や研究機関、産業界等と連携して研究開発にも取り組んでいます。

PTA活動としては、あいさつ運動、文化祭バザー、講演会の開催、施設見学会など、誰もが楽しく参加できるPTA活動を展開している旨の発表がありました。

また、「命を育む農業教育」く農業教育の原点」と題してRCCテレビで放映された、畜産科四十名の女子生徒(畜産ガール)の取り組み状況について報告さ

れました。セーラー服ではなく作業服に身を包み、広大な農場を走り回って牛や豚、鶏などの世話をしながら生命の誕生に携わる、「命」を題材として学ぶ農業教育に感銘を受けました。

特に、生徒一人一人が鶏を卵からふ化させて飼育し、成長した鶏の「命」をいただいて私たちの生活が成り立っていることを体験する授業などは、食事の前 handsを合わせて「(命を)いただきます」と生き物たちに感謝の念を発する言葉であることを、改めて痛感させられました。

続いて、高校生のアトラクション第二部として広島県立呉宮原高等学校ダンス部による軽快なダンスが披露されました。ヒップホップダンスやジャズダンスなどが多彩に繰り広げられ、会場の雰囲気

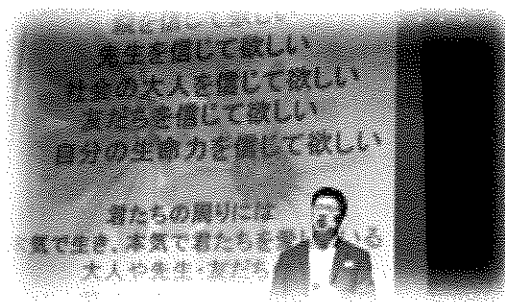


も一新されて華やかなダンスホールへと変身し、観客席は高校生の若々しい躍動

感に目を釘付けにされました。

なお、広島県立呉宮原高等学校ダンス部による「第四回宮原ダンスフェスタ」が、来る平成二十八年三月二十日(日)に開催される予定です。どうぞ御期待ください。

今大会の講演は、講師に元中学校教師の腰塚勇人氏をお迎えし、演題は「命の授業」—今の幸せに気づくことから夢は広がる—で行われました。



腰塚先生は、生徒たちの教育・指導に

一生懸命打ち込む「熱血教師」でしたが、二〇〇二年、スキーでの事故をきっかけに、人生も人生観も大きく変わることとなりました。頸椎骨折という大ケガ、四時間におよぶ手術の末、奇跡的に命はとりとめたものの全身が動かない深刻なマヒ状態となり、あまりの絶望に心が深く沈む中、救ってくれたのは妻や両親、同僚の先生や生徒、病院のお医者さんや

看護師さん達(ドリー夢メーカー)でした。



多くの「ドリー夢メーカー」からの応援と励ましを受けて、腰塚先生の心も再び動き始め、入院生活やリハビリでは紆余曲折しながらも、自分の命はあらゆるものに「助けられ、生かされている」ことに気づき、奇跡的な復活を果たされ、退院後は身体に障害を抱えながらも教職に復帰されました。

一生懸命に生きてと思えるように、今日をしっかりと生きる。(助けてもらった命)

「命を育む五つの誓い」

○「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう

○「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう

○「目」は、人の良いところを見るために使おう

○「手足」は、人を助けるために使おう

○「心」は、人の痛みがわかるために使おう

ユーモアと感動を交えながら「命の大切さ」について御講演いただき、九十五分間という時間が「あつ」という間に過ぎ去ってしまいました。



閉会行事では、次回開催予定地区である三次地区高等学校PTA連合会の皆さんのぼり旗を掲げて壇上上がり、宇山茂之副会長からお招きの言葉と御挨拶がありました。

その後、呉地区高等学校PTA連合会の松本明彦会長が、元氣いっぱい会場から溢れんばかりの力強い「閉会のことば」を述べられ、大会の全日程が無事に終了しました。

今大会の主管である呉地区高等学校PTA連合会の皆様をはじめ、開催に御尽力いただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

(調査広報委員 上新 治)

全県一斉あいさつ運動ポスター入賞作品の紹介



優秀賞
戸手高校 3年
大石 純子

広島県高等学校PTA連合会健全育成委員会事業の一環として、平成二十三年度より開始しました、「全県一斉あいさつ運動」は、今年で五回目を迎えました。

毎年十一月一日を実施日としておりましたが、昨年引き続き、今年も休日となるため、十一月二日に行っていたべく、ようにお願いしました。当日は各校、各地であいさつ運動を実施いただきました。

本年もポスターを募集し、十一月二日の「全県一斉あいさつ運動」の前に各校へ配布いたしました。

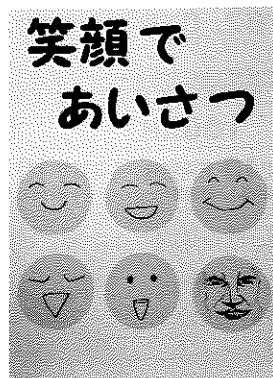
応募総数七十三点の作品の中から、広島県立戸手高等学校 大石純子さんの作品が選ばれ、ポスターとなりました。

たくさんのお応募をいただきありがとうございました。

また、その他受賞されました作品を御紹介します。



会長賞
広島井口高校 1年
福本 理乃



佳作
安芸府中高校 3年
高橋 大樹



佳作
黒瀬特別支援学校 高等部 1年
谷口 佳穂



佳作
五日市高校 2年
平尾祐里菜

平成28年 県高P連行事予定

- 平成28年1月23日(土) 平成27年度第2回単P会長研修会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成28年3月中旬 平成27年度第2回常任委員会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成28年6月9日(木) 平成28年度県高P連定例総会(広島県民文化センター)
- 平成28年6月下旬 平成28年度第1回常任委員会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成28年7月15日(金) 第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会
(高松市 アルファあなぶきホール)
- 平成28年7月30日(土) 平成28年度第1回単P会長研修会(広島YMCA国際文化センター)
- 平成28年8月11日(木) 広島県高等学校PTA連合会進学説明会(広島県民文化センター)
- 平成28年8月25日(木)~26日(金) 第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会
(千葉市 幕張メッセ ほか)
- 平成28年10月22日(土) 広島県大会(主管 三次地区高P連)
- 平成28年11月1日(火) 全県一斉あいさつ運動

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、こども総合保険のペットネームです。〉

1. 団体割引25%適用・損害率による割引5%適用
2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償
3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償
○携行品（学校管理下動産担保特約）の補償は学校管理下中のみです。
○夜間・休日も24時間事故の受付をしております。
4. 「スクールメディカルデスク24」で24時間無料電話健康相談サービス付き
○「スクールメディカル・デスク24」は、東京海上日動メディカルサービス㈱との連携により、同社からご提供いたします。
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(平成27年4月25日午後4時より平成28年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	
賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	1事故 2億円 限度	1事故 1億円 限度	1事故 1億円 限度	1事故 5,000万円 限度	1事故 3,000万円 限度	
病気入院日額 (1日あたり)	4,000円	3,500円	—	—	—	
傷 害	入院日額 (1日あたり)	4,300円 (4,200円)	3,700円 (3,500円)	3,700円 (3,500円)	2,800円	2,400円 (2,300円)
	通院日額 (1日あたり)	3,200円 (2,800円)	2,200円 (2,000円)	2,100円 (1,900円)	1,200円 (1,000円)	900円 (800円)
	手術	入院日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。 傷の処置等のお支払の対象外の手術があります。				
死亡・後遺障害	196.0万円 (191.3万円)	159.0万円 (135.0万円)	162.0万円 (152.2万円)	140.0万円 (136.2万円)	104.0万円 (98.1万円)	
被害事故補償	1事故 1,000万円 限度	1事故 1,000万円 限度	1事故 1,000万円 限度	—	—	
育英費用	100万円	100万円	100万円	50万円	—	
携行品損害補償 (学校管理下動産担保特約) 〈免責金額(自己負担額)〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	1年間で10万円限度 〈1事故1,000円〉	—	
年間保険料	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円	4,650円	
制度維持費	350円	350円	350円	350円	350円	
制度掛金 (1年分)	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円	5,000円	

○携行品の損害保険金は1年間で10万円が限度(注)となります。

(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。

※こども総合保険については被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数により保険金額が一部変更となることがあります。(上記保険金額は被保険者(保険の対象となる方)ご本人の人数が、5,000名以上10,000名未満の場合です。3,000名以上5,000名未満の場合は()内の保険金額となります。) ※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。

※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

※病気入院(入院医療保険金)については新規加入時の支払責任の開始日より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内はこども総合保険の内容についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東海日動パートナーズ中国四国 TEL:0120-018-217 平成27年3月作成 (14-T-13696)

(引受幹事保険会社)



TOKIOMARINE
NICHIDO

東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

(共同引受保険会社)



AIU損害保険(株)
広島支店

広島市中区基町11-10
合人社広島紙屋町ビル
TEL 082-222-4351

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に依りて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

〈引受保険会社〉東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIU損害保険株式会社